

# 第47回「議員と語り合い」報告書

文教厚生常任委員会 (No.1)

開催日	令和6年11月6日(水曜日) 13時00分 ~ 14時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟3階 全員協議会室		
団体名	(仮)霧島市視覚障害者協会	参加 人員	5人 (男2人:女3人)
出席議員	松枝正浩、野村和人、藤田直仁、塩井川公子、山口仁美、宮田竜二、前島広紀、有村隆志		
役割分担	班長(松枝正浩)、副班長(野村和人)、記録係(有村隆志)		
テーマ及び 具体的な内容	視覚障害者とまちづくり		

意見 交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆今回の地震で水が濁ったが視覚障害者は気づきにくい。多くの障がい者は災害情報が伝わりにくいので、民生委員・近所の方と繋がり、災害情報等や生活情報の入手そして、避難所開設などの情報を知ることで安心した生活をしたい。
	◆国の制度では、朝晩の通勤時に同行支援は使えない。一人で、道路を白杖で歩いて大変怖い思いをしながら通勤している、市独自に同行支援が出来ないか。
	◆道路横断では点字ブロックや交差点の誘導音を頼りに横断歩道を渡っている。交差点の横断歩道の白線が消えているところや、横断歩道の誘導音がない時は、歩道を渡れなくて困っている。
◆道路整備について 道路の歩道に点字ブロック未整備か所がある。設置をしてほしい。 狭い道で白杖の障がい者が歩いているときは、車は配慮してほしい。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

霧島市内で困っていることについて

- ① 視覚障がい者の同行支援者の人数が少ないので増やしてほしい。
- ② 市として通勤時の同行支援が出来ないか。
- ③ 街路の木が目当たるので枝の除去をしてほしい。
- ④ 白杖の使い方を知ってほしい。(車・人・自転車)
- ⑤ 歩道の設置物、段差や穴などは整備して歩きやすくしてほしい。
- ⑥ 今回の様に飲料水が濁った時は、飲料水を自宅まで届けてほしい。
- ⑦ 災害時に、避難所への移動は車で移動支援が出来ないか。
- ⑧ 暗い道路に街灯を増やしてほしい。
- ⑨ いきいきチケットはすべて移動のために使えないか。

◆Mワゴンは、便利で使いたい。視覚障がい者にも優しい交通手段にしてほしい。

乗車待ち時に、Mワゴン車のドライバーに気付いてもらいやすくする事、介助者があれば乗れるので、乗降場所によってはドライバーの介助等で乗降出来ないか。乗降時にMワゴンのステップが高いため乗りやすく工夫出来ないか。もっと台数を増やせないか。

意見交換での主な意見等